

まじめなかね

Vol.190 発行:2024.7.15 出雲市立総合医療C 病院だより編集委員会

7月28日は肝炎デーです

●肝炎とは

肝炎とは、肝臓の細胞に炎症が起こり、肝細胞が壊される病態です。

その原因には、ウイルス、アルコール、自己免疫等がありますが、その中でもウイルスによるものを「ウイルス性肝炎」といいます。

日本においては、「B型肝炎ウイルス」あるいは「C型肝炎ウイルス」の感染による肝炎がその多くを占めています。

早期発見のためにも、肝炎ウイルス検査（肝炎検査）を受けたことがない方は、一生に一度は必ず肝炎ウイルス検査を受けましょう。

●当院でも肝炎ウイルス検査を無料で受けることができます

〔対象者〕

- ・松江市を除く県内にお住まいの方 ・職場や市町村が実施する検査の対象でない方
- ・過去にB型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方
- ・肝炎ウイルスキャリアでない方、治療中や治療後でない方

※既に医療機関等でウイルス性肝炎との診断を受けている方は、この事業の対象とはなりません。

〔お申込み・お問合せ〕 0853-63-5112 平日9時~17時 医事課

◆当院は、肝炎ウイルス検査等で発見された患者さまに対し、専門的な検査や治療が実施できる医療機関として、島根県から選定された医療機関です。

また、佐藤院長をはじめ肝炎医療コーディネーターが12名在籍しています。

お気軽にご相談ください。

◆当院職員が、現在、大学病院の肝疾患相談支援センター主催の「肝臓病教室・家族支援講座」の担当をしています。ぜひご覧ください。

★肝臓病教室 「慢性肝臓病の克服を目指して」 院長 佐藤秀一

★家族支援講座 「肝臓病こんな時どうする？」 臨床検査技師 馬庭恭平

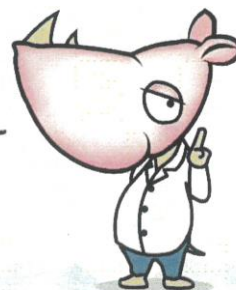
- ・視聴方法 島根大学医学部附属病院の肝疾患相談支援センターのホームページを開く、もしくは下記の二次元コードを読み取る

- ・動画配信期間 8月31日まで

島根 肝疾患センター



検索
または
二次元コードから！

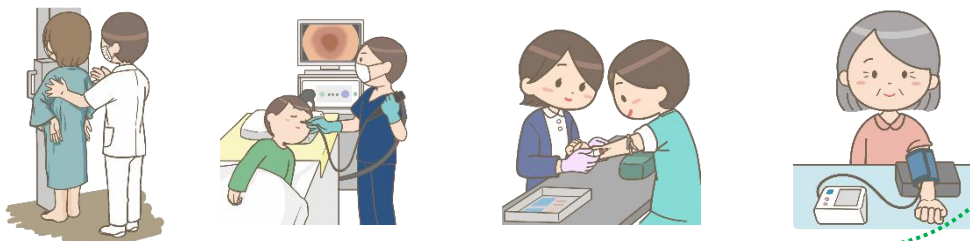


人間ドックのすすめ

「人間ドック」は、がんや高血圧、糖尿病など生活習慣病などの
予防と早期発見・早期治療を目的としています。多くのがんは進行がん、
末期がんになるまで自覚症状はありません。生活習慣病も、気づかないうちに
病気が進行することがあります。そこで、普段気づきにくい疾患を早期に
発見するため、詳細に体の状態を把握するのが「人間ドック」です。

総合医療センターでは、「人間ドック」のオプションとして、「子宮がん検
診」「乳がん検診」「脳 MRI 検査」「胸部 CT 検査」「動脈硬化指標検査」をご
用意しています。また、毎年1月～5月は、「スプリングドック」を実施し
ています。

「人間ドック」を定期的にご利用することで、自分の体の状態を把握でき、
健康管理がしやすくなります。ぜひ人間ドックを受けて、健康管理に役立てま
しょう。



7月12日は「人間ドックの日」です

80年以上前に日本で産声をあげた人間ドックを、最初に組織的に行っ
たのは、昭和29年7月12日、国立東京第一病院（現在の国立国際医療
研究センター）といわれています。その日にちなんで、公益社団法人・日
本人間ドック学会が7月12日を「人間ドックの日」と制定しました。

より多くの人に「人間ドック」の受診を促すことで、
病気の早期発見につなげ、国民の健康増進に寄与す
ることを目的としています。



※おたすね／

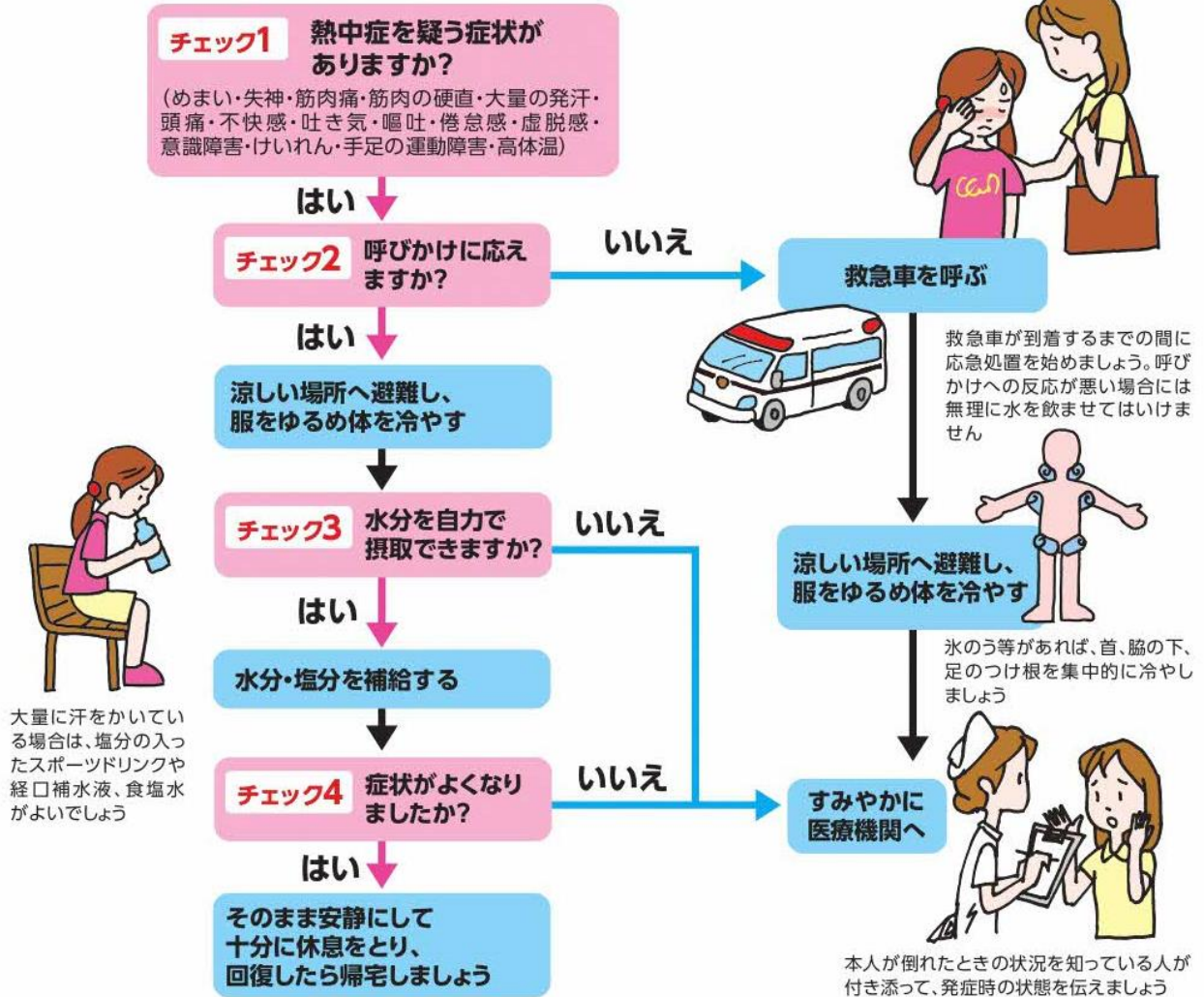
出雲市立総合医療センター	(代表)	63-5111
健康管理センター	(直通)	63-5119
<平日8:30~17:00>	FAX	63-5118

熱中症が疑われるときは？

毎日、暑い日が続いています。熱中症は予防が一番ですが、もし熱中症を疑う症状が出た場合はどのように対応すればよいのでしょうか。応急処置の流れを知り、適切な対応に努めましょう。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況確かめて対処しましょう。最初の措置が肝心です。



体温を効果的に下げるための方法の例

- ・上着を脱がせ、服をゆるめて風通しを良くする。
- ・皮膚に濡らしたタオルやハンカチをあて、うちわや扇風機であおぐ。
- ・服の上から少しずつ冷やした水かける。
- ・氷のうや冷えたペットボトルなどを、首、脇の下、足のつけ根にあてて冷やす。

出典：環境省熱中症予防情報サイト